



明日を まぎずく

熊本県の
土木事業

ことしも国土建設週間がやってきた。私たちの生活に身近かな道路、河川、住宅建設など、住みよい郷土をつくるための努力が今日も続けられている。さて、その現況はどうか。

道路はよくなるか

道路を見れば、その国の産業や文化の水準がわかるといわれます。恥かしい話ですが、熊本県の道路は決してほめたものではありません。道路が悪いということは、ただ本県だけの問題ではなく、これは全国的に共通する悩みでもあるわけです。

しかし、産業観光の開発という点から道路の改良は急務であり、県ではその対策に懸命の努力を尽しています。そこで、なぜ道路が悪いのか、どんな対策が進められているか、この際皆さんによく知って頂こうと思えます。

本県の道路網はどうか……★

本県の道路は次頁の表で見る様に、南市と大分、宮崎、佐賀等と結ぶ、二級国道熊本八女市から山鹿、熊本、八代、水俣の各市を縦貫して鹿児島県に至る一級国道三号線(百四十七号)が最も重要な幹線となつています。次に、熊本

くまもとの花 <シリーズ3>

熊本市下立田の山地に自生したものが元五高教授浅井東一氏により昭和4年に発見され、天然記念物として指定された。

現在は殆んど自生を見ず、樹高は1.5米位まで伸びる。葉中の狭いのが特徴で香りがよい。

花ことば (沈黙)

肥後八重くちなし(写真は肥後八重くちなし)



☆☆ 県政フラッシュ ☆☆

- ← 日赤の患者さんたちへ、はるばる北海道から空輸ですゞらんの花が贈られてきました(6.6)
 - ✓ 異常乾燥のため、一瞬大火に見舞われた蕨陽町馬見原の痛ましい状景(6.8)
- 災害にそなえて県下各地で水防訓練が展開されました(益城町木山で、水防訓練のひとつ)



熊本市のデパートで開かれた母と子のよい歯のコンクール(6.5)



三井三池争議の現地を視察した熊本県議団の一行(6.18)

